

# 「見えてきた戦争—島々から始められる戦争」

とき 2024年2月11日(日) 午後2時～4時

ところ 日本キリスト教団 新潟教会

新潟市中央区営所通 2-709-2 Tel 025-222-3420

参加費 500円(高校生以下無料)

Zoomによる配信も行います。希望者は下記のIDとパスワードでご視聴下さい。  
ログインの際、ご自身のお名前を表示して下さい。 視聴のみでの参加となります。  
ミーティングID: 833 3754 6607 パスコード: 123456 (参加無料)

講師：清水早子さん

<プロフィール>

1995年より沖縄県宮古島に在住。島の子どもたちと向き合う教育産業に就きながら、反戦・反基地・島の軍事化反対運動を続けて四半世紀。宮古島ピースアクション実行委員会代表。ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表。



<寄稿論文>

「フォトレポート『下地島空港』の軍事利用を許さない」2002年、「国策に翻弄される沖縄・宮古島『下地島空港』」2007年、「宮古諸島・重層する被支配の歴史」2009年、「追体験・宮古島1945～1972」2012年、「宮古島軍事化フォトレポート2022 軍事要塞化と調う戦争準備」2022年。

※いずれも労働総合誌「飛機」に寄稿

「オキナワ・宮古島で考える『ゆいまーる』のオルタナティブ」2011年、

※アジア女性資料センター「女性たちの21世紀」65号に寄稿

「ナヘー風」(新沖縄フォーラム刊行季刊誌)に宮古島闘いのレポート

※93号2017年、98号2018年、104号2019年、111号2021年、119号2023年に寄稿

「琉球島の軍事要塞化と日米軍再編」2022年 ※コンパス21 刊行委員会発行「コンパス21」Vol.25

沖縄島から300km南に位置する宮古島。山も川もなく平らなこの島は汚泥などが流れ出ないため限り無く透明な海に美しいサンゴ礁が発達しています。79年前、島民5万のこの島に3万の日本兵がやって来て、やがて空襲で町は焼かれ、海も空も封鎖され、宮古島は「飢餓の島」となりました。今は「観光の島」として平穏に暮らしていた、この宮古島に、2017年から自衛隊の基地建設工事が始まりました。地下水が「いのちの水」であるこの島の民家のすぐそばに弾薬庫が作られ、燃料タンクが埋められた。そしてミサイルが運び込まれました。

宮古島に、そして沖縄の島々に今、何が起きているのか。パレスチナのガザで起きていることは、遠い国のよそごとでしょうか？宮古島で、身体をはって行動している清水さんの話を聞き、私達にできることは何かを、一緒に考えたいと思います。

🍷 おむすびを12時から1ヶ100円で販売します。

いろいろなおむすびがあります！なくなり次第終了。(高校生以下無料)

主催 日本キリスト教団新潟地区社会部

共催 新潟キリスト者平和の会 連絡先 (高橋 090-4007-1004)

ミサイルより

おむすび

